

各関係機関団体の長
殿
各病虫害防除員

福岡県病虫害防除所長

技術情報第4号

チャバネアオカメムシの果樹園への飛来について

本年のチャバネアオカメムシの第一世代成虫（新成虫）の発生は後期発生型で、果樹園への飛来は県平均では9月上旬と予想され、早い地域では8月下旬から飛来しています。
つきましては、早期発見に努め適期防除を行うように指導をお願いします。

- 1 対象作物名 果樹全般（カキ、カンキツ、ナシ等）
- 2 病虫害名 チャバネアオカメムシ
- 3 果樹園への飛来時期
県平均：9月上旬（一部の早い地域：8月下旬）
- 4 発生量
後期発生型の平成23年並
- 5 ヒノキ球果及びビーティングの調査結果

- (1) 県下28カ所における8月5半旬のヒノキ球果のビーティング調査の結果、チャバネアオカメムシのヒノキ球果での寄生虫数は平均6.6頭で、後期発生型であった前々年（6.0頭）並である（表1）。
- (2) 県下28カ所における8月5半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査の結果、口針鞘数は平均9.6本で前々年（9.7本）並である。地域により0.3～20.9本とバラつきがあり、多い地点ではチャバネアオカメムシがヒノキから離脱する目安とされる25本に近づいている（表1）。
- (3) 県下5ヶ所の予察灯における8月1～4半旬のチャバネアオカメムシの平均誘殺数は403頭と前々年（304頭）並である（図1）。

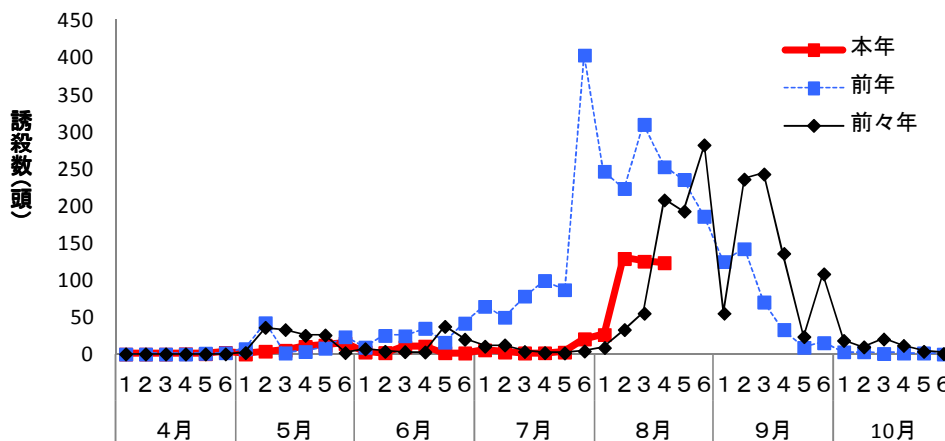


図1 チャバネアオカメムシの予察灯誘殺数の推移(県内5ヶ所平均)

(4) 8月5半旬のカキ園の巡回調査では、チャバネアオカメムシの加害による被害果は認められなかったが、一部で園への飛来が確認されている。

6 防除上注意すべき事項

(1) 園内外をこまめに見回り、早期発見に努める。チャバネアオカメムシは広範囲に移動するため、広域に一斉防除を行うと効果が高い。

(2) 最新の果樹カメムシ類の発生状況については、病害虫防除所ホームページを参照の上、適期防除に努める。

表1 ヒノキ球果の口針鞘数及びヒノキのビーティング調査によるチャバネアオカメムシの寄生虫数 調査時期：8月5半旬

調査場所	口針鞘数調査		ビーティング調査(頭)								
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								
	被害球果率 (%)	口針鞘数 (本)	成虫数	幼虫数					計		
			1令	2令	3令	4令	5令	計	計		
本所管内	宗像市山田	100	20.9	1	0	0	1	0	7	8	9
	糸島市前原	80	4.7	5	0	0	0	0	1	1	6
	古賀市青柳	65	3.2	0	0	0	0	0	0	0	0
	久留米市田主丸町益生田	95	8.5	0	0	1	2	1	2	6	6
	久留米市田主丸町森部	100	13.2	1	0	0	2	2	2	6	7
	うきは市浮羽町小塩	85	11.6	0	0	0	0	0	0	0	0
	朝倉市長谷山	45	0.9	0	0	0	0	2	1	3	3
	朝倉市柿原	95	4.6	0	0	0	0	1	1	2	2
	朝倉市屋形原	60	2.5	1	0	0	0	0	0	0	1
	朝倉市宮野	100	18.8	3	0	0	3	1	1	5	8
	朝倉市三奈木	85	3.8	3	0	0	0	0	0	0	3
	朝倉市志波	85	5.0	4	0	0	0	3	1	4	8
	飯塚市入水	70	3.4	0	0	3	1	0	0	4	4
	筑紫野市吉木	100	10.3	6	0	4	3	0	0	7	13
平均 (14か所)	83.2	7.9	1.7	0	0.6	0.9	0.7	1.1	3.3	5.0	
筑後支所管内	大牟田市上内	100	20.5	0	0	0	2	2	0	4	4
	みやま市山川町立山	100	13.0	0	0	0	1	0	0	1	1
	八女市立花町白木	100	14.9	2	0	0	0	1	1	2	4
	八女市立花町飛形山	100	12.8	30	0	0	0	0	1	1	31
	八女市黒木町野田山	100	15.6	5	0	0	2	0	0	2	7
	八女市黒木町今	100	13.1	10	0	0	0	0	0	0	10
	八女市黒木町本分	100	10.9	2	0	0	2	0	3	5	7
	広川町梯	100	16.7	11	0	0	0	2	4	6	17
平均 (8か所)	100	14.7	7.5	0	0	0.9	0.6	1.1	2.6	10.1	
行橋支所管内	岡垣町上畑	100	20.2	0	1	1	0	0	0	2	2
	岡垣町戸切	100	13.2	3	1	7	3	2	2	15	18
	みやこ町屋川町木山	55	2.1	0	0	0	4	0	0	4	4
	上毛町唐原	50	2.8	0	0	0	0	0	0	0	0
	築上町寒田	45	1.8	0	2	2	3	1	0	8	8
	築上町本庄	15	0.3	2	0	0	0	0	1	1	3
平均 (6か所)	61	6.7	0.8	0.7	1.7	1.7	0.5	1	5.0	5.8	
平均 (28か所)	83.2	9.6	3.2	0.1	0.6	1.0	0.6	1.0	3.5	6.6	
H24	98.3	22.4	3.9	0.0	0.2	0.3	0.2	0.3	1.0	4.9	
H23	84.3	9.7	2.3	0.2	0.7	0.9	0.5	1.0	3.3	6	
H22	80.8	13.7	4.7	0.0	1.0	0.5	0.8	0.9	3.1	7.8	
H21	99.7	20.1	3.8	0.0	0.7	0.7	1.2	1.5	4.1	7.9	
H20	95.0	16.9	10.1	0.3	0.8	1.3	1.2	1.0	4.6	14.7	

注1) 口針鞘数は20球果の平均である。

注2) ビーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落としの結果である。

注3) チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏期の温度では約30～40日である。